経済史概論Ⅱ

科目ナンバリング ECH-102
選択必修 2単位

清水 雅大

1. 授業の概要(ねらい)

現代世界における支配的な経済システムである資本主義は、物質的な豊かさをもたらした一方で、深刻な労働問題や経済格差、環境破壊を生み出している。このような資本主義社会を客観的批判的に再考し、より良い経済生活についての見通しを得るために、資本主義の史的展開を学ぶことは不可欠である。経済史概論Ⅱでは、主に近代の西ヨーロッパおよび北アメリカ地域における産業革命を取り上げ、工業化の過程について学ぶ。

2. 授業の到達目標

- ・近代資本主義の確立過程について、経済史的な概念を正確に理解したうえで説明することができる。
- ・近代資本主義の特徴を理解し、これを客観的批判的に考察することができる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点40%(課題への取り組み、授業への参加度)
定期試験の成績60%

4. 教科書・参考文献

教科書

馬場哲・山本通・廣田功・須藤功 エレメンタル欧米経済史 晃洋書房、2012年

参考文献

斎藤幸平 人新世の「資本論」 集英社、2020年

5. 準備学修の内容

- ・高校世界史の欧米近代史の分野を復習しておくこと(授業では高校世界史の知識を前提に講義します)。

6. その他履修上の注意事項

- ・「経済史概論Ⅰ」を履修していること。
- ・授業では毎回指定教科書を使用しますので、受講する場合、教科書の購入は必須です。期末試験では教科書のみ「持ち込み可」とします。
- ・授業中の迷惑行為(私語、飲食、携帯電話、遅刻・途中退室など)は厳禁です(守られない場合には受講を認めない)。
- ・積極的・主体的な授業参加を求めます。

7. 授業内容

- 【第1回】 〈オリエンテーション〉
経済史概論Ⅱで学ぶこと(概要、目的、方法)、テキスト、成績評価、受講上の注意について
- 【第2回】 「最初の工業国家」イギリス
- 【第3回】 イギリスの工業化と人口・農業・商業
- 【第4回】 イギリス産業革命とその帰結
- 【第5回】 ヨーロッパ大陸の産業革命
- 【第6回】 小括と課題
- 【第7回】 アメリカ合衆国の独立
- 【第8回】 アメリカ合衆国の産業革命
- 【第9回】 「バックス・ブリタニカ」の時代
- 【第10回】 第二次産業革命の時代
- 【第11回】 世紀転換期のイギリス経済
- 【第12回】 世紀転換期のドイツ・フランス経済
- 【第13回】 世紀転換期のアメリカ経済
- 【第14回】 【オンライン講義】グローバル資本主義について
- 【第15回】 まとめと定期試験